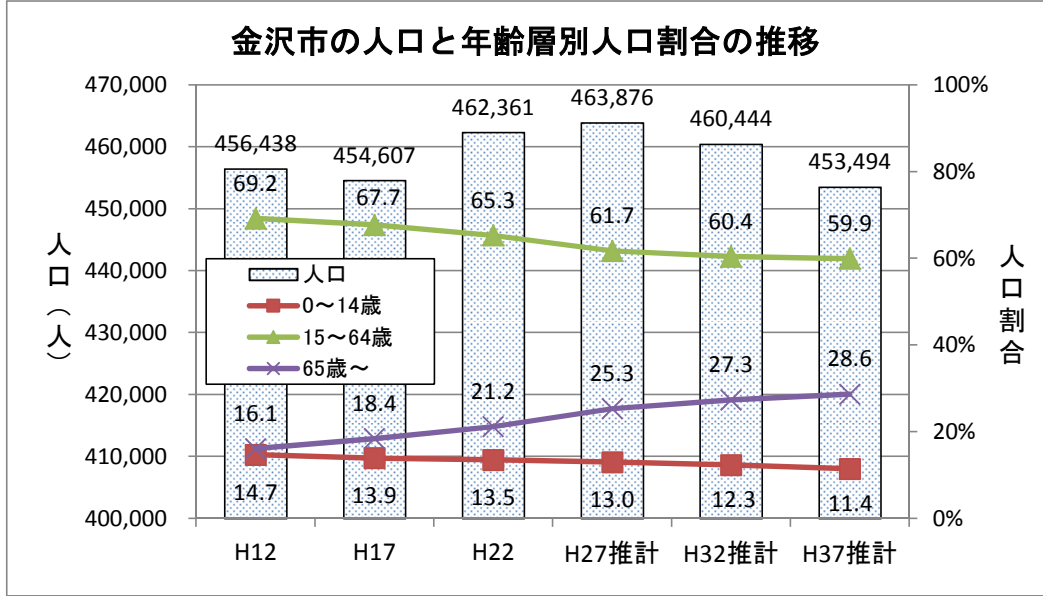


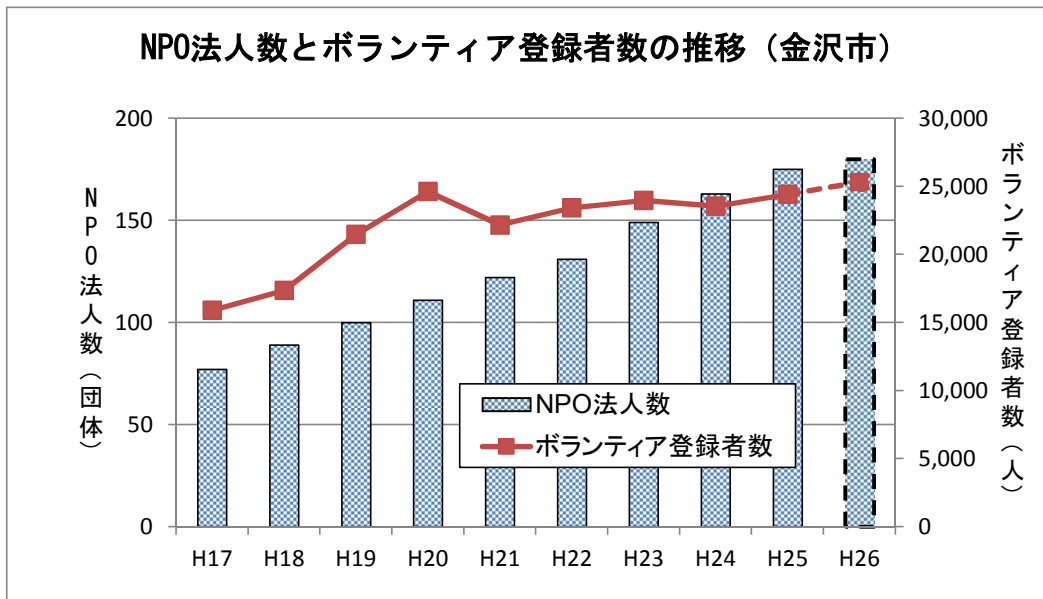
図1：少子高齢社会の進展及び人口減少社会の到来



出典：国勢調査（H12-H22）、国立社会保障・人口問題研究所（H27-）

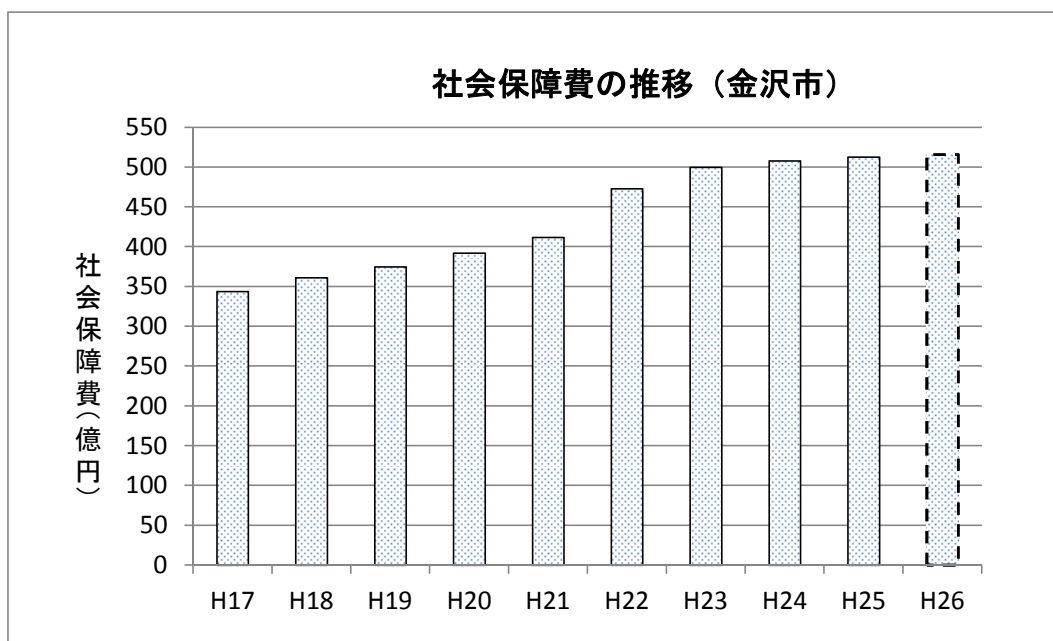
今後、少子高齢社会が急速に進展することに加え、人口減少社会の到来が見込まれています。

図2：社会への貢献意識の高まり



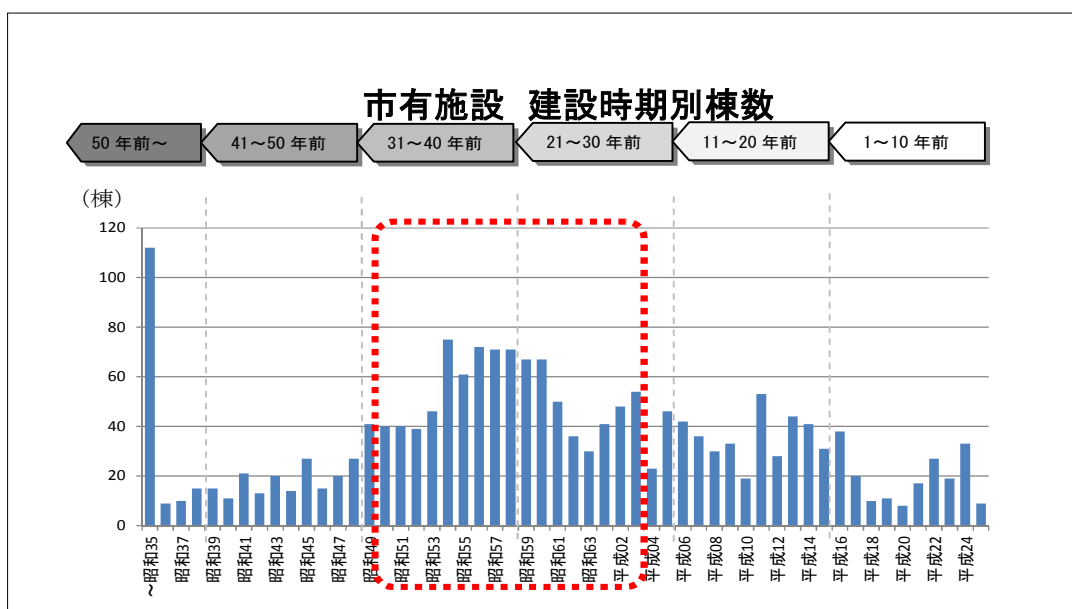
NPO法人、ボランティア登録者の数がともに増加傾向にあり、社会参加への意識が高まっています。

図3：社会保障費の増大



高齢化の進展に伴い、扶助費などの社会保障費が年々増加しており、今後、財政の硬直化が懸念されます。

図4：公共施設等の老朽化



出典：市有財産台帳（平成25年4月1日）

市有施設の多くが、昭和50年代から平成初期にかけて建設され老朽化が進んでいることから、今後、大規模修繕や建替えの時期を迎え、維持管理や更新等に係る経費の増大が懸念されます。